

# 豊川小だより

10月号

## 未来の自分への投資

ホームページ  
QRコード



令和7年10月2日  
北区立豊川小学校  
校長 中村 順子

校長 中村 順子

先日NHKのニュースを見ていたところ、ジャッキー・チェンにインタビューをしている特集を放送していました。ジャッキー・チェンは現在何と71歳！それにもかかわらず（失礼）、今年8月に公開された新作映画でも、危険なスタントも含めてすべて自分で演技しているとのことには驚くばかりです。ジャッキーはアナウンサーからの質問に、往年と変わらない風貌で、彼らしい柔和な笑顔で答えていました。

インタビューの中で彼が次のように語ったことが、私の印象に残りました。

私はいつも40年前の自分に感謝している。懸命に努力し、苦勞し、けがもたくさんした。でもそれを乗り越えたから今の自分があるんだ。自分の教え子たちには、「今努力しなければ『なぜあのとき努力しなかったんだ』と、20年後に後悔するよ。」と伝えているんだ。

確かにその通りです。ジャッキーが話していた通り、今の自分を作ったのは、過去の自分なのです。努力や苦勞を積み重ねてきたことが、今の自分にすべて返ってきており、また今日の自分の努力や苦勞も、未来の自分への投資になっていくのでしょうか。

＊

教育というものはまさしく「未来への投資」です。子供自身が自己の「生きる力」を身に付けていくために今の大人ができること、それが教育という支援です。それは即効性があるものもあれば、漢方薬のように長い時間の積み重ねがあって初めて結実するものもあるでしょう。今年度の豊川小学校の研究テーマは「非認知能力の育成」です。「なぜだろう」と疑問を抱くこと、「そうなんだ!」と感動すること、「もっとやってみたい」と自ら学びたいと思うこと…。年間7回の校内研究授業を起点とした日々の授業はもちろんのこと、9月26日に行われた「豊川まつり」、創立150周年記念行事の数々と、子供たちの学びの場は多岐にわたります。そのどれもが「未来への投資」であり、子供たちが生きるための貴重な財産になっていくと信じています。先月の4年生の岩井移動教室では、親元を初めて離れて宿泊するために、たった9～10歳の子供たちが互いに協力する体験を積みながら2日間の時間を過ごしました。これもまた大きな学びの一つでした。帰校式で、たった1泊でこんなに変わるのかと思うほど、引き締まった顔を見せた4年生に頼もしさを感じたのは、私だけではなかったと思います。

＊

その一方で、前述の通り、時に即効性がないことも教育の特徴です。日々子供たちに向き合い、こつこつと指導を重ねていくことが、私たち教職員に託された使命です。豊川小学校の子供たちの生きる力、すなわち非認知能力を育成していくために、日々の教育活動を、子供たちが自分の力で未来へ投資できる機会であると考えながら、2学期も指導を続けてまいります。